

三浦半島労福協・地域連合共催でフードバンクかながわ体験研修実施！

10月16日（水）14時30分から三浦半島労福協・地域連合共催でフードバンクかながわを訪れ、『フードバンクかながわの体験学習会』を13名参加のもと行いました。

冒頭、神奈川県労福協の市川事務局長と三浦半島労福協の松本会長から挨拶があり、まずは『フードバンクかながわ』を知って頂き、今後の各組織の協力につなげてもらいたいとお願いがありました。



挨拶後はフードバンクかながわ藤田事務局長からフードバンクかながわの①設立された背景や経緯そして目的、②しくみと現状③各種の支援を頂いた事例報告などの説明を約1時間受けました。



その後は体験学習会にうつり、実際に寄付されたものをどのように分け、必要とする方に届ける工程の一部を体験しました。

今回は2班に分かれて、大袋で頂いたお米を個人配布しやすいように、専用の器具を使い1.5キロの袋に小分けをする作業のチーム、個人から頂いた様々な食品を賞味期限ごと専用の棚に仕訳けるチームで作業を行いました。

それぞれの作業には意味があり、お米を1.5キロは支援を必要としている方が度々足を運んでもらい貧困状況の把握を行うために、そして、賞味期限仕訳は頂いた食品を無駄にしないために消費期限の迫ったものから極力優先に供給することを目的にしています。

三浦半島労福協・地域連合は今回の実践研修会を活かしていき、今後は構成組織でも、今回のような研修会を行えるように取り組み『フードバンクかながわ』支援の輪を広げて行きたいと思えます。

